

教材教具写真



ビンゴボード



ワークシート（1）



ワークシート（2）



ワークシート（3）

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - ・ 1 から 9 までの数字のマッチングができる。
 - ・ 1 から 9 までのカードの絵の数量を数えて、数字との一致ができる。

2 発達段階など

発達段階別指導内容表 算数科 V 簡単な加法・減法を習得する時期（1）

3 使い方

児童の実態に応じて、数字・数量の一致をねらう児童は、ワークシート（1）（2）を用いる。数字のマッチングをねらいとする児童は、ワークシート（3）を学習教材として用いる。

「レッツビンゴ！」のかけ声とともに、児童に数字の書かれた玉をひかせる。取り出した玉の数字を児童に読ませる（数唱）。数詞を聞いて、該当する絵カードを選び、各々のワークシートの数字に重ねる。活動が終わるごとに、ビンゴボードに注目させて、ボードを裏返すと児童の好きなキャラクターが登場するようにする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

児童は、数字を親しみやすいものとして捉えることができていた。ビンゴボードを用いることで、残りの数字が明確になっていたように感じる。また、次はどんなキャラクターが現われるかなといった期待感を児童自身もっていた。今回の学習は、本来のビンゴゲームのルールとは違ってしたが、児童の実態に応じて工夫をされるといいかもしれない。

もっとも効果的だと考えた点は、一斉指導の場面でも児童の個々の実態に応じて数詞・数字・数量の学習が可能な点である。また順番に児童が玉を選び、数唱することで児童同士の関わり合いを持たせることができるとも考えている。